

兵庫県保険医協会神戸支部 第 46 回総会・記念企画のご案内

依存症と共に生きる

日 時 10 月 18 日(土) 記念企画 15 時～17 時

(総会議事は日時が変更となり、10/23 (木) 16 時～協会会議室にて行います)

会 場 県農業会館大ホール ※協会会議室から会場・定員が変更となりました。



15 時～ 記念企画

「アルコール依存と向き合う」

山口 達也氏

ミニ講演「日常診療で依存症かな？と思ったら」

長田区・にじハートクリニック 大谷 夏実先生

※講師来場での講演となり、オンラインでの配信はございません。

会場定員 400 人 (定員に達し次第締め切り)

参加費 無料 対象 会員・会員医療機関職員

今年の神戸支部総会は記念企画として「依存症」をテーマに取り上げます。

元 TOKIO の山口達也氏をお招きし、アルコール依存症に苦しんだ自身の体験をもとに、患者の視点からの依存症とその向き合い方についてお話いただきます。

あわせて、医師の視点から、大谷先生に日常診療で依存症を疑われる患者さんが来られた時の診療でのポイントや専門医への紹介の仕方についてお話いただきます。

【山口達也氏プロフィール】株式会社山口達也 代表取締役。1972 年 1 月生まれ、2018 年 5 月、旧ジャニーズ事務所退所。2022 年「飲酒運転防止インストラクター資格」、「依存症予防教育アドバイザー資格」、「メンタル心理カウンセラー資格」を取得。2023 年 3 月「株式会社山口達也」を開設し、自分の経験を活かした「アルコール依存症」、「依存症全般」「50 歳からの再チャレンジ」等の講演活動を実施。また「企業向けの危機管理セミナー」も実施する

*お問い合わせは TEL 078-393-1807 神戸支部担当 小西・平まで

【神戸支部総会来場参加申込】FAX 返信:078-393-1820 _ _ _ _ _

・総会議事 (10/23・木 16 時～ 協会会議室) ☐参加 ☐不参加 (議事の一切を議長に委任します)

・記念講演 (15 時～、県農業会館) ☐参加 () 人 ☐不参加

地区 _____ 医療機関・施設名 _____

お名前 _____ TEL _____ FAX _____

兵庫県保険医協会

神戸支部ニュース

391 号

2025 年 9 月 25 日付

発行 兵庫県保険医協会神戸支部

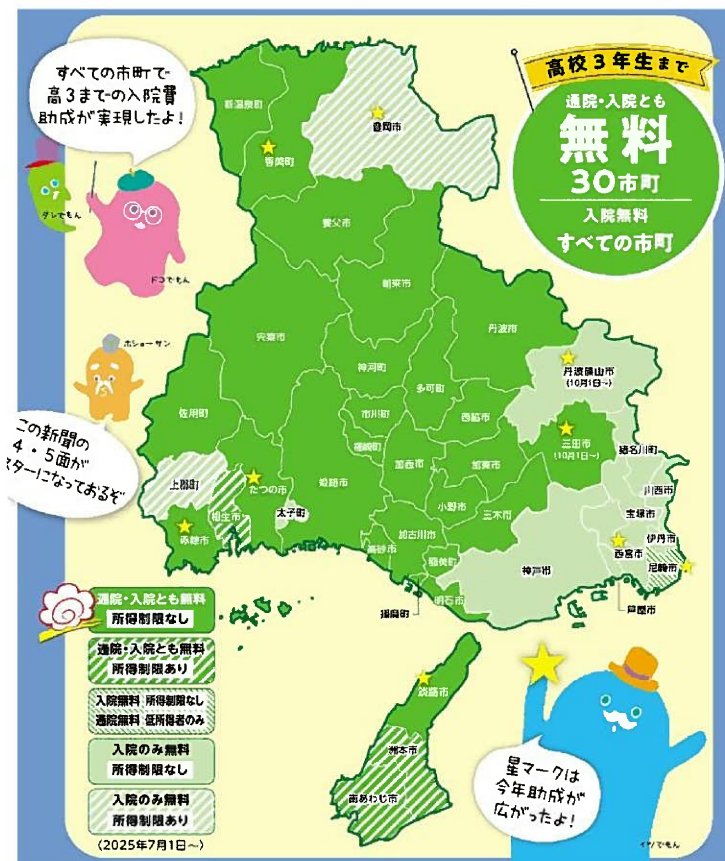
〒 650-0024 神戸市中央区海岸通 1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル 5 F

兵庫県保険医協会 TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

2025 年度福祉医療＋補聴器助成制度 調査結果

神戸市の助成制度は改善なし

中 3 まで通院無料制度なしは神戸市のみ
高 3 までも 26 市町が入院・通院所得制限なし完全無料に



協会が実施した 2025 年度福祉医療制度等調査結果が 9 月初旬にまとまった。中 3 までのこども医療費助成では、神戸市以外すべての市町で「中 3 まで通院・入院とも無料」の制度が実現 (ただし、尼崎市、豊岡市は対象が住民税非課税世帯など低所得者限定)。入院・通院とも無料の自治体が 30 市町と全体の 7 割を超え、うち 26 市町は所得制限も撤廃している。また、高齢難聴者に対する補聴器購入費助成制度については 5 市町が新設し、県内市町の約半数 20 市町に広がった。(月刊保団連 9 月号にパンフレット同封)

神戸市も高 3 まで無料化を

神戸市でも、神戸支部も参加する市民要求を実現する会などの団体が署名に取り組むなど、「こども医療費無料化を」との声が広がり、制度は拡

▲高校 3 年生世代までの県内市町の医療費無料化の状況

充されてきた。しかし、神戸市では通院が無料となるのは 2 歳児までで、3 歳～高校 3 年生までは 1 日 400 円 (2 割負担)、月 2 回までの負担がかかり、市は「無料化」はしないとの立場だ。

(2 面へつづく)

(1 面からのつづき)

市が無料化をしない原因は久元現市長の姿勢にある。久元市長は初当選時には「中 3 まで無料化」を公約に掲げ、当選後の神戸支部の質問に対しても「中学 3 年生までの医療費無料化について、段階的かつ速やかに実施することにしております」と回答していた。しかし、2017 年以降「将来の財政負担を考えると一部負担が必要」と無料化は行わない考えに転換している。

理由としては「人口が 100 万人以上の自治体で高校生までの医療費を無料にしている例はほとんどない。というのは、大都市には規模が大きく高度な医療ができる病院が集まっている。無料にすると、子どもがそういった病院に殺到して、パンクするおそれがある。兵庫県全体の医療を担っている神戸市で、一律無料というのはすべきではないと私は考えている」(神戸市公式 note、2022 年 12 月 22 日 11 : 30) などとしている。しかし、政令指定都市でも名古屋市やさいたま市では、通院・入院とも所得制限なしで無料となっており、仙台市も市長が 2026 年度から 18 歳までの無料化を表明している。

また、2002 年から 2017 年までの 15 年間に医療費全体が 12 兆円増加した中、0 ～ 19 歳の医療費の増加は 0.5 兆円にとどまり、レセプト件数は横ばい、時間外受診件数はむしろ減少傾向にある(本田孝也、月刊保団連 2019 年 3 月号)ことや、県内でこども医療費無料化が広がった 2012 年度から 17 年度にかけて県内の休日・夜間応急診療所の受診者数は約 4 % 減少している(協会調査)ことなどが明らかになるなど、各種調査で無料化によって『無駄な受診』が増えていないことが示されている。

神戸市の子どもたちの健康を守るため、高校生 3 年生世代まで、所得制限のない完全無料化を協会は求めていく。

兵庫県保険医協会 神戸支部
評議員・予備評議員(医科)選挙公示

兵庫県保険医協会
理事長 西山 裕康

協会規約 31 条の 2 及び協会役員等選出規定の第 3 条の 2 により、評議員・予備評議員(医科)選挙の公示を行います。

兵庫県保険医協会規約 第 32 条

- 評議員は、本会の方針に沿い、各支部又は歯科部会の活動の中心となる。
2. 評議員は各支部又は歯科部会を代表し、所属する会員の意見を集約し評議員会に反映する。
3. 予備評議員は、評議員を補佐するとともに、評議員会に評議員欠席の際には評議員として出席する。

【任期】 2 年

【改選日】 10 月 23 日(木) 神戸支部第 46 回総会(会場:保険医協会 5 階会議室)

【立候補日時締切】 10 月 16 日(木) 正午 ※改選日の 1 週間前

【立候補届出の方法】

立候補希望者は、協会事務局までお申し出ください。用紙をお届けします。「立候補届」に必要事項を記入の上、事務局へ持参または郵送ください。なお、歯科については歯科部会で選出します。

健康と医療について語り合う会

「効果的な予防法と対策で記録的猛暑をのりきろう」



手話を交えて熱中症の危険を学ぶ参加者たち



講師の高野修一先生

神戸支部は 7 月 24 日に、あすてっぷ神戸で健康と医療について語り合う会を開催した。これは聴覚障害者らが医療や健康についての情報を学ぼうと定期的で開催する「聴覚障がい者の医療を考える会(“いのち”を考える会)」の講師派遣の要請に応えているもの。灘区・ろっこう医療生活協同組合灘診療所・所長の高野修一先生が「やはり今年も、熱中症は危険～始まりの症状に気づき、重症化を避ける～」と題して講演し、市民、聴覚障害者の方を中心に 28 名が参加した。参加者からの感想文を紹介する。

ここ数年、毎年、思うことがある。昔の夏はこんなに暑かっただろうか? 講演会でも話されていたように、私が子どもの頃は『日射病』と言われていた。それが『熱射病』と言われるようになり、2000 年からは『熱中症』に統一されたとのこと。思えば、わが子たちが外でスポーツをすることがあると『熱中症に気をつけるように』と言われ始めたような気がする。今では、朝から 30 度超えの気温。口を開けば合言葉のように交わされる『暑い』という言葉。『猛暑』『酷暑』『災害級の暑さ』と毎日のように聞こえてくる。

昔は、私の田舎では家の周りには土があり、打ち水をすれば涼しくなった。夜は蚊取り線香をたいて窓を開けて寝ることができた。風鈴などの音で情緒も感じられていた。それが今では、日中も夜もエアコンなしでは過ごせなくなった。扇風機だけでは到底追いつかない状況である。情緒を感じることで命を守ることの方が大切だ。

今回の講演会で熱中症増加の 3 つのキーワードの一つ、言葉としては知っていた『地球温暖化』がどういうことか、2 つ目、『都市化』(ヒートアイランド現象)がどういうものを学んだ。人間の生活が豊かになればなるほど起こってしまう弊害なのだろう。かと言ってここまで便利になった生活を昔に戻すことは不可能だろう。では、これから『熱中症』とどう付き合っていけばいいのか? 日常生活を送るうえで、この講演会で学んだ『熱中症予防と対策』を頭に入れて生活しなければと思っている。また、3 つ目のキーワード、『高齢者』。職業柄、高齢者と接する機会が多くある。その度に高齢者は熱中症になりやすいこと、注意しなければならない点などを具体的に伝え『熱中症には気をつけて』と声をかけるようにしている。また、今年 6 月から企業の熱中症対策が義務化されたとのこと。これから自分自身も仕事で外に出る際は注意をしなければという再認識ができたと思う。

【兵庫県手話通訳問題研究会 医療班 N. A】